



「ソーレ! ソーレ!」

19P  
かわさき想い人  
「なんでもやります」

18P  
6月会議  
料金オールシーズン化

6P  
町政を問う  
大会に向けて

2P  
所管事務調査  
実態把握から検証まで



# 課題や将来の町づくりを

## 総務民生

総務民生常任委員会が5月15日に所管事務調査をしましたので、その概要を次のとおり報告します。

### 調査事項①

## 学校跡地利用 広く町民の参加を



▲施設概要の説明を受ける

### 【調査結果概要】

平成24年3月、児童数の減少に伴う小学校統廃合で、4カ所の学校跡地が存在するようになりました。その後、学校跡地の活用・利用を決定することが求められてきました。

学校跡地（地域活性化施設）利用にあたり、地域性や自然条件等を踏まえながら、事業者が事業内容を構築し、審査会や説明会を経て、平成29年4月に活用事業者（4者）と賃貸借契約を締結しました。

当委員会では、学校跡地の利用状況と今後の活用方針等について調査をしました。

### 【委員会意見】

地域活性化施設の利用は、事業者と協力しながら事業のPR、および雇用促進を図ってほしい。

また、各跡地で展開される事業に広く町民が参加されることを望みますので、情報の周知に努めてください。

現在は耐用年数に達するまでの期間が十分残されている建物ですが、将来に向け老朽化対策や売却なども視野に入れて検討してください。

## 産業建設教育

産業建設教育常任委員会が5月16日に所管事務調査をしましたので、その概要を次のとおり報告します。

### 調査事項①

## ほ場整備事業の現状と今後の計画 基盤づくり支援を



委員会は、ステップ1からステップ5まで行っています。

### 【調査結果概要】

県の水田整備状況による平成29年度の実績見込みでは、町の水田面積1200ha（農振用地）に対し整備率33%の400haとなっています。県の管内区分では、仙南54%と他の管内より低い整備率となっている状況です。

現在、前川地区を平成33年までの事業として整備しています。平成33年度からは、農地整備事業の中心経営体農地集積促進事業で、受益者負担分の補助交付を受けられるよう計画し、小沢地区・古閑地区を整備する予定です。

### 【委員会意見】

経営体育成型の農地整備事業は、経営体への農地集積率に依拠しての交付となっています。生産基盤と営農環境整備の育成・支援を一体的に実施するため、当該受益者の「やる気」が重要と考えます。基盤となる経営体の構築では、高齢化や担い手などのマンパワーの確保が課題となっています。このことから、地区での相談と連携を密に図りながら、できる支援を考える必要があると思いますので、対応を計画してほしい。



▲前川東部ほ場整備状況

総務  
民生

産業  
建設  
教育

調査事項②

ごみ集積所の管理  
カメラ設置対策も

【調査結果概要】

ごみ集積所は町内229カ所(257基)に設置されており、管理は地区衛生組合(行政区)が行っています。設置や移転などの要望があった場合は、地区衛生組合と協議をして場所を決定しています。

ごみ分別指導員の巡回により状況を確認し、指定日以外に出されたごみや分別されていないごみなどを把握しています。状況が悪い場合は、地区衛生組合と対応策を検討しています。



▲ごみ出しマナーを守りましょう

【委員会意見】

悪い状況の集積所に様々な対応をしていますが、町地区特定の集積所は、現在もマナー違反が続いています。

啓蒙活動等の対策以外にも美化保全のために、集積かごを増やす、監視カメラ設置などという物理的な対策も、必要に応じて検討してください。

▼調査・視察・検証のようす



調査事項②

学校施設・遊具の状況  
安全・安心を第一優先

【調査結果概要】

町内の小学校4校と中学校2校のなかで、川崎小学校校舎は築50年が経過しています。比較的築年数が小さい学校施設以外は、平成に入り耐震改修や大規模改修で維持しています。

各小学校の遊具は、定期的に業者による点検を実施して不具合の把握をしています。



▲学校遊具点検

【委員会意見】

現地視察を実施し、遊具については数カ所不具合があると思われるので、調査し、撤去すべきか修繕可能なかを判断し対応してください。施設関係では、雨漏り等があるようなので早急に対応してください。

学校施設の安全を確保することは、学ぶ以前の問題です。学校関係予算の優先順位を整理してください。

また、長寿化計画を本年度策定する予定であることから、今後は各学校の改修等を中長期的に考え、計画的に実施していくことで、児童生徒の安全安心を確保するようにしてください。



# 町政を問う

## 8人の議員が質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。一般質問など詳細な議会の内容はQRコードを利用してください。



- ◆ 佐藤 昭光 議員 ..... 7
  - (1) 川崎病院の将来は大丈夫か
  - (2) 国土調査後の固定資産課税
- ◆ 的場 要 議員 ..... 8
  - (1) まちづくりの長期ビジョン
  - (2) 町職員の義務と責任
- ◆ 高橋 義則 議員 ..... 9
  - (1) 農地整備事業
  - (2) 人口減少問題
- ◆ 沼田 長一 議員 ..... 10
  - (1) 人口増加対策
  - (2) マラソンコースの景観整備
- ◆ 大沼 大名 議員 ..... 11
  - (1) 組織能力向上
- ◆ 遠藤 美津子 議員 ..... 12
  - (1) 引きこもりの社会復帰支援
  - (2) 心肺蘇生教育と危機管理体制
- ◆ 眞幡 善次 議員 ..... 13
  - (1) 通学路の防犯灯は万全か
- ◆ 神崎 安弘 議員 ..... 14
  - (1) 畜産振興
  - (2) 農地保全

## 問 運営負担額が郡内最高

## 答 経営意識を持って

**問** 町民一人当たりの病院負担額は、28年度3万2000円と柴田郡で一番高い。将来に不安がありますか。

**答** 町長 郡内では唯一、3万円台。29年度は若干増える見込みです。地域的特性も一要因ですが、職員一人ひとりが経営意識を持つ必要があると考えています。

**問** 欠損金<sup>※</sup>の大幅減に歩調を合わせて、現金・預金<sup>・</sup>が大幅に減っているのも不安材料では。

**答** 町長 現金・預金の減少を大変危惧しています。地域医療連携業務などの充実で経営安定を図っていきます。

**問** これまでの現病院への繰り入れ総額は。

**答** 町長 52億9000万円です。収益確保による繰り入れ縮減に努めます。

将来を考える時期に▼



佐藤 昭光 議員



**答** 町長 ご指摘のとおりです。地域懇談会で説明し、議員の意見も求めています。と思います。

※欠損金とは、営業活動によって生じた赤字のことです。

## 問 国調後課税スムーズか

## 答 滞納不安は少ない



▲地権者が立ち会いのもと調査

**問** 当町は、本年度から国土調査に基づく固定資産課税が始まりました。課税面積と税収の増減を伺います。

**答** 町長 面積は2655ha、税収は1550万円の増です。

**問** 課税方式の変更に、町民の理解が大前提だと考えますが。

**答** 町長 納税義務者の方々には、前年度の当初課税や課税面積のお知らせなどの周知により、一定の理解をいただいていると思っています。



的場 要 議員

## 問 将来のカタチは

## 答 時代に合った施策を

**問** 10年後、20年後の戦略人口になったと想定し、どのようなカタチでまちづくりが行われるべきなのかを考えると、いく必要があると思います。総合戦略と同時に、将来のカタチを考える取り組みに着手してはいかがでしょうか。

**答** 町長 総合戦略で示した施策の効果を検証し、時代に合った施策の展開を図る必要があると考えます。人口減少については、町民が一丸となって多方面から力強く取り組み、解決の糸口がつかめると信じています。

**問** 2040年、2060年時の人口予想が出ています。その人口になったときの「まちづくり」について、どのような町にしたいと考えているのでしょうか。

**答** 町長 国はインバウンド政策で交流人口を増やそうと、交付金制度を設けています。しかし、我々が考えていかなければならないのは関係人口という、町と関わる人たちを大切にしていくことだと思っています。



▲尚絅学院大学との連携に期待

行政改革に伴い、自治体職員を取り巻く環境と制度、仕組みは大きく変わってきています。地方公務員の身分取り扱いに関する基本的な事項を定めた、地方公務員法の基本事項を改めて理解する必要があります。

## 問 基本事項の再認識を 答 町独自の研修も行う

**問** 新規採用時に町独自の研修を行っているのでしょうか。また、地方公務員法第27条、28条、29条について、しっかり理解してもらう必要があると考えますか。

**答** 町長 地方公務員法は公務員としての基礎となるものです。特に第27条、28条、29条については、職員の分限及び懲戒処分に関するものですので、今後は町独自の研修も行い、職員への理解を深めていきたいと考えています。



▲議会広報を使った職員研修

## 問 2地区の基盤整備計画は

## 答 平成33年採択を目指す

**問** 基盤整備率33%で全体の3分の1しか整備されないなか、小沢、古閑地区が計画されていますが、今後どのように進めていきますか。

**答** 町長 平成33年採択を目指し、委託したい農家、受託したい農家に区分し、どのような経営体にするのか作付計画、販売計画など農業経営方針を検討していきます。

**問** 早期に進めていくためには何が必要ですか。

**答** 町長 「地元での話し合いの積み重ねと合意形成」が最も重要と考えており、計画の熟度を高めていく、話し合いの積み重ねが必要で



▲予定されている小沢地区(左)・古閑地区(右)

## 問 人口減少の施策は

## 答 柱は仕事、出会い、定住

川崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョン・総合戦略概要版のなかで、平成60年人口は半分に以下に縮小すると言われていますが、その施策について伺います。

**問** 高校・大学を卒業後、町外に転出するが、歯止めとなる対策はありますか。

**答** 町長 町内に就業するために企業誘致などの拡充を図り、国道286号バイパス開通という大きな事業を通じ、仙台市との利便性向上をアピールしていきます。

**問** 青年男女の結婚支援事業の現状は、また今後どのように進めていきますか。

**答** 町長 婚活イベントを年2回から4回開催しており、今まで12回開催してきました。「出会いの場」の提供は今後も必要ですので、イベントの内容や手法を工夫し、少しでも成果につながるように支援をしていきます。

**問** 若い人が住宅を新築した場合、固定資産税を優遇すべきと考えますか。

**答** 町長 提言された内容を含め子育て支援の観点などを加味し、若い人が町外に転出しない手立てを研究していきます。

高橋 義則 議員





沼田 長一 議員

## 問 大会に向けての整備は

### 答 共同で現地調査を実施

**問** 今後長期的に行っていくには、財政も厳しいかと思えます。ボランティアを利用する考えはありますか。

**答** 町長

ボランティアを募るのは、町が主体ですが、活動中のボランティア団体が行うか、町がバックアップする形がいいのか、今後検討していきます。

**問** マラソンコースは、春には桜のきれいな場所であるため、年間をとおして管理が必要と考えますが。

**答** 町長

以前にダム管理所と意見交換をした経緯があります。お互いできる範囲でやっていきます。



▲湖を見ながら走りたい

## 問 空き家バンクのモデルハウスを町が準備し、移住体験をしてもらい町の魅力をPRし、移住者を増やす考えは。

**答** 町長

現在町内の旅館を利用し移住体験ツアーを行い、移住の先輩との交流等を実施しています。モデルハウス運用は有効な手段と考えています。実現に向け検討していきます。



▲早く使ってください

**問** 昨年のレイクサイドマラソンは、天候にも恵まれ盛況に終わりました。しかし、一部の参加者より湖が見えなかったのが残念との声が聞かれました。景観整備の予定とダム管理所への協力依頼は。

**答** 町長

第2回大会に向け実行委員会を開催しています。ダム管理所にも参加していただいています。7月に事務局とダム管理所共同で現地調査を行い、竹やぶや下草除草の範囲を決める予定です。

## 問 戻りやすい施策は

### 答 良さを積極的に発信

**問** 近隣の家族構成を見ると、親2人で生活している家庭が多い。町外に住んでいる若い人たちに地元に戻ってもらう施策は。

**答** 町長

非常に難しい問題だと思っています。現実的な施策で特効薬になり得るものはいまだせていません。川崎の自然の良さや仙台市に隣接していることなどを積極的に発信し、最適な施策を検討していきます。

## 問 組織能力向上は

### 答 機会を増やし育成

**問** 本年度の施政方針を達成するためには、組織的な能力を高めていく取り組みが大切と考えます。所信をお聞かせください。

**答** 町長

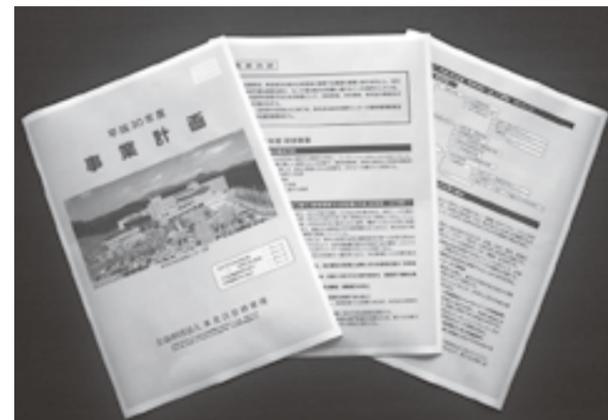
施政方針では、町政運営を行ううえで方向性や理念について、企業誘致促進から生涯学習まで22項目を掲げています。町政を遂行するためには、職員の育

成や教育は欠かせないものと考えています。

**問** 当町の現状と今後の取り組みについて伺います。

**答** 町長

町独自に職員研修を年2回開催しているほか、県市町村職員研修所の各種研修会に職員を派遣しています。また、専門的な研修は各課で対応しながら情報共有を図っています。今後も積極的に職員の資質向上に努めていきます。



▲研修所の計画をもとに

**問** 行政や専門的な研修とは別に、いろいろなもの見方・考え方を学ぶ機会も必要と考えます。どのような状況ですか。

**答** 町長

そのとおりだと思います。首長対象の研修会や会議に課長や補佐が出席する機会を増やしています。また、商工会主催のセミナーに職員を派遣したりしています。

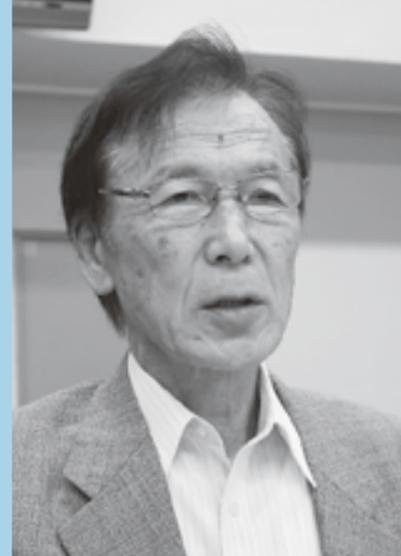


▲職員全体研修

**問** 職員一人ひとりを育てていくためのプログラムはありますか。

**答** 町長

現在の体制は、勤続年数別、課長、補佐、係長を自治研修所の研修に派遣しています。研修で得たものを、それぞれの職責の立場で部下等の育成、指導、指示をするというようなかたちで、各課で対応しているところです。



大沼 大名 議員



遠藤 美津子 議員

### 心肺蘇生の教育は

### 答 中学校の授業で実施

**問** 児童生徒への心肺蘇生教育は。

**答** 教育長

小学校の児童にとっては難しいところです。中学校では毎年消防署の職員を招き、保健体育の授業で実際にAEDを使用した心肺蘇生法を学んでいます。

**問** 教育施設のAED設置状況を伺います。

**答** 教育長

町内全小学校、中学校、こども園、幼稚園に設置しています。

**問** 教職員へのAED講習の実施状況と具体的な取り組みは。

**答** 教育長

毎年、教育委員会主催で小中学校、こども園、幼稚園の教職員を対象に、2回に分けて消防署の職員を講師に招き、救命救急処置研修会を実施しています。今後も継続していきます。



▲いざというときのために

### 問 ひきこもり実態調査を

### 答 現状を調査したい

**問** ひきこもりの高年齢化が進んでいます。年齢が高くなるほど抱える家庭の負担は重くなり、支援が難しくなっています。実態を調査し支援策の実施が求められています。現状と課題について伺います。

**答** 町長

毎月1回、こころの相談事業を実施しています。保健師と連携を図りながら、家庭訪問による面談をおして必要に応じ医療機関につなぐなど、1日も早く脱出できるような支援しているところです。

**問** 実態調査をしたことがありますか。

**答** 保健福祉課長

調査したことはありません。

**問** 秋田県藤里町では、ひきこもり者・不就労者を対象に福祉の拠点「こみつと」をオープンし、地域に根差した活動をしています。ひきこもりの実態調査も独自で行っています。当町もすべきと考えますが。

**答** 保健福祉課長

どういった現状にあるのか調査したいと思えます。

### 問 通学の安全対策は万全か

### 答 関係機関と連携を図る

**問** 不審者による、声かけ等が社会問題になっています。

犯罪から子どもを守るための安全対策は万全か、特に通学路において照明がなく危ない箇所はないか、町としてどのように把握しているか伺います。

**答** 教育長

安全教育計画に基づき、毎年交通安全教室や防犯教室などを開催しています。また、学校、保護者、地域とともに関係機関との連携を図りながら、安全な通学路の確保に努めています。

**答** 町長

昨年も、町内で不審者による女子中高生への声かけ事案は3件ありました。通学路の安全確保については、各学校や各地域からの要望に応え、防犯灯の新設や故障に伴う器具の交換など最善を尽くしています。



▲人家がない通学路

**問** 現在統廃合により郊外にはスクールバスの運行が行われており、安全対策は万全だと思われれます。しかし、バスから降りて自宅までの道中に問題がないか、改めて調査する必要があるかと思えます。

**答** 教育長

通学路においての定期的な安全点検は実施しています。児童のスクールバスのバス停から自宅までの通学路の防犯灯や街路灯の設置など、要望があれば調査します。

**問** 先月起こった新潟の事件においては、防犯カメラの映像が逮捕のきっかけになりました。抑止力という観点で、通学路等に防犯カメラを設置することは一番効果的だと思えますが、設置する考えは。

**答** 町長

抑止力としては防犯カメラが効果的なので、設置場所・予算などを検討したいと思えます。学校には、一人で帰らないことを徹底するよう、教育長を通じて進めていきます。



▲抑止力を発揮する防犯カメラ



眞幡 善次 議員



佐藤 昭光 議員

以前の質問確認したい!!

# 追跡質問



▲カワウに食べられないように(富岡小の鮎放流)

## 問 被害に真摯な対応を

## 答 県や漁協と連携して

**問** 先日、漁協に同行して釜房湖周辺を調査し、最大300羽を目視しました。幼鳥等も含め最大600羽を超すという驚きの結果でした。町の真摯な対応を求めます。

**答** 農林課長  
川の自然を守っていただいている方々です。よく相談・連携していきます。

**問** 昨年12月に、釜房湖周辺を中心としたカワウ被害についてたまたました。その後、県や関係自治体とどう連携して対策をとってきたのか伺います。

**答** 農林課長  
今後、県や漁業協同組合が主催する研修会参加を検討します。また、5月に県で釜房大橋周辺を調査し、最大172羽と報告をいただきました。本年度も県と連携を図っていきます。

## 視察受け入れ

当町議会広報紙「カワサキ議会情報便」の編集・発行を視察研修するために来町されました。よりよい議会広報紙づくりや議会活性化のために、活発な意見交換が行われました。

- 5/24 岩手県釜石市議会
- 5/24 福島県会津美里町議会
- 6/29 千葉県芝山町議会
- 7/2 宮城県亘理町議会
- 7/3 福岡県芦屋町議会
- 7/9 福島県玉川村議会



## 問 継続できる畜産振興を

## 答 関係機関と連携し進める

**問** 昨年、当県で開催された全国和牛能力共進会では、当町からも選出・出品され評価を得ています。県ブランド牛「仙台牛」の当町での出荷頭数と占める割合はどのくらいですか。

**答** 町長  
平成28年度は231頭出荷され、そのうち仙台牛に格付けされたのは71頭で30・7%、平成29年度は、236頭出荷、うち96頭で40・7%です。

**問** 仙台牛銘柄推進協議会と連携を図るべきと考えますが。

**答** 町長  
協議会は銘柄確立と販売促進の展開を目的としていることから、出荷された牛が「仙台牛」となれるよう情報収集も含め、今後も連携を図っていきます。



▲「仙台牛」格付けを目指して

**問** 農地中間管理機構が設置されてから4年が経過し、農地集積をはじめ遊休農地、耕作放棄地解消を行っています。高齢化が進むなか、当町での課題はありますか。

**答** 町長  
平成29年度農地集積状況は、耕作面積1840haに対し集積面積264haで、集積率は14・4%です。ほ場整備率が低く作業効率が悪い、高齢化と後継者不足、獣害対策費用増加などが課題としてあげられます。

**問** 平坦地と中山間地の格差はあると思います。中山間地の現状と課題を国や県へ示し対策強化を図るべきと考えますが。

**答** 町長  
国へは課題などを示しています。施策（事業）を示されましたので、担当課と協議し対応していきたいと思えます。

**問** 優良素牛の導入の現状と今後の考えは。

**答** 町長  
各農家が厳選して導入し、今後も経営戦略の一環として、各経営体で導入していきます。情報などがあれば随時共有します。

## 答

## 問

## 中山間地の課題解決を

## 事業を模索し対応

**問** 平坦地と中山間地の格差はあると思えます。中山間地の現状と課題を国や県へ示し対策強化を図るべきと考えますが。

**答** 町長  
国へは課題などを示しています。施策（事業）を示されましたので、担当課と協議し対応していきたいと思えます。

# 研修レポート

## 仙南・亶理常任委員長研修会

7月5・6日の2日間、仙南・亶理地方町村議会常任委員長研修会が開催されました。当議会からは議長、副議長、各常任委員長の6人が参加しました。

報告書の一部を紹介します。

### 隣接町に学ぶ

産業建設教育常任委員会

委員長 佐藤 達也

研修の初めに「住民に開かれた議会の取り組み」と題した西会津町議会議長、武藤道廣氏の講演を伺いました。当議会で取り組むべきと思った点は次のとおりです。

- ① 議員報酬の定率化（首長給与に対して）。
- ② 政策提言調査特別委員会設置検討。
- ③ 議会モニター・政策サポーター制度の導入。
- ④ 町の健康づくり施策。

次に「議員定数削減と報酬増額への取り組み」の講演を七ヶ宿・村田両議会の特別委員会委員長から事例発表がありました。両議会とも定数減・報酬増の結果となっていますが、当議会でも審議していることもあり、決定にいたる審議経過は、大変参考になるものでした。



# 議会改革を進める

## 目指すところは同じ

議会広聴・広報委員会

委員長 眞幡 善次

### 住民の声を反映させたい

広報広聴委員長分科会に参加し、各議会の取り組みについての研修をしました。

特に議会広報の作り方・議会報告会については、各議会の取り組みについての発表があり検証しました。それぞれ取り組み方は

違っても、目指しているところは同じだと思います。

広報紙作成についての考え方や取り組みについては、各議会においてだいたいが開きがあるように思えました。

写真を多く使用し、読みやすく、わかりや

すい広報紙を目指します。

また、これからの広報紙づくりに大切なのは、住民の声を今以上に載せることが大切であることを改めて感じました。

### 自由な政治活動を

2日目は分科会が開かれ、「常任委員会等の視察・研修と政務活動費の活用状況」をテーマとした分科会に参加しました。

各議会の各委員長から報告を受けましたが、各議会の視察決定方法や予算は様々のように

す。政務活動費支給議会は3議会と少数で、使用の範囲を決定することなど、要綱の整備に苦慮しているとのことでした。これを導入しない方が、自由な政治活動ができると感じています。



### 議会報告会のあり方

各議会とも、議会報告会はやるものの、人数が集まらない、来場人や話題も同じとか、議会報告会を見直す時期に来ていると感じました。

当議会でもやっている各種団体との意見交換会は、これからも継続

する必要があると思います。

今回の研修では、各議会の取り組み方や考え方を学ぶ上でも、広報紙をつくるうえでも参考になりました。

# 6月会議



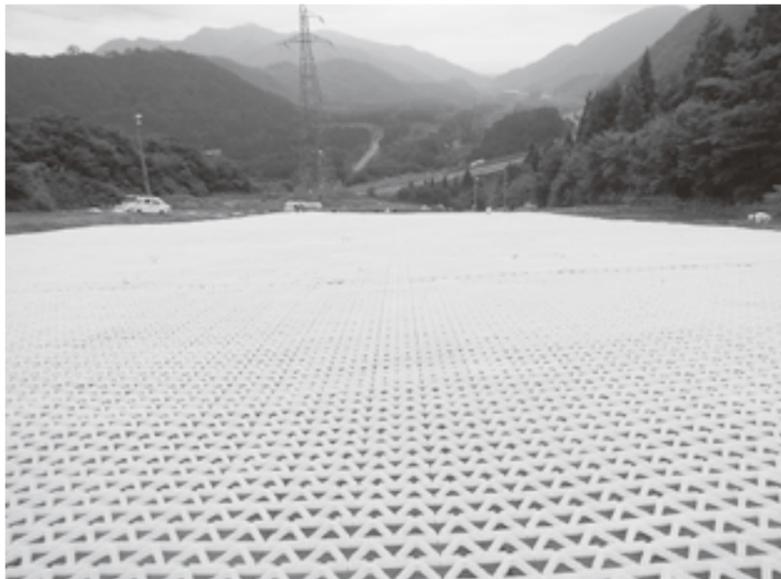
そば実さん

6月会議は、6月5日から8日までの会期で開きました。  
町から提案された条例改正案件1件、補正予算案件1件、人事案件1件、交通事故和解等案件1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

## 条例 セントメリースキー場オールシーズン料金体系へ

スキー場の設置及び管理に関する条例改正

■ 提案理由  
スキー場をオールシーズン滑走可能とするためのゲレンデ整備に伴い、条例の一部を改正するものです。



▲工事が進むゲレンデ整備

### Q&A

石野議員

問 ナイター営業は考えていますか。

答 本年9月からは考えていません。状況に応じて検討していきます。

地域振興課長

沼田議員

問 夏限定のシーズン券を検討しては。

答 年間をとおしてのオールシーズン券も考えられます。指定管理者と協議します。

### 人事案件

#### 固定資産評価審査委員



まかべ ちようえつ 眞壁 長悦 さん(再任) (碇石)

委員の選任に同意しました。  
任期 平成30年7月1日から平成33年6月30日までの3年間。

### 補正 一般会計補正予算 1394万円追加

- コミュニティ助成金を活用した「宮城蔵王支倉豊年踊り保存会の活動助成金」 220万円
- 蔵王山の火口周辺警報に伴う「中小企業振興資金等利子補給金」 70万円
- 東北観光復興対策交付金を活用した「みやぎ蔵王三源郷交通アクセス向上検証事業」 944万3000円
- 川崎小学校の受変電設備改修で生じた「低濃度PCB汚染機器の運搬処理業務委託料」 160万円



# かわさき想い人



高齢化社会が進むなか、困った人の助けになればと思い、便利屋「フリーショップ・グレートエスケープ」を立ち上げ、皆さまの非日常を応援し、地域とのコミュニケーションを大切に行動しています。

## 町の礎を築いてくれた 高齢者の力に

Q 便利屋として具体的にどんな活動をしていますか。  
A 高齢者支援をはじめ、頼まれたことは何でもやっています。

車のタイヤ交換をはじめ出張整備・家周りの掃除・買い物・話し相手・送迎・ネットオークションの出品落札の代行などをしています。

## 川崎町の良さを再認識

Q 海外によく行かれるとのことですが、どんな国に行かれましたか。何を感しましたか。  
A オーストラリアをはじめ、ペルー、エジプト、ネパール、モンゴル、トルコなど、大自然の素晴らしい国々に行きました。子どもたちにも世界を見ていただきたい。自然豊かな川崎町のよさを改めて感じています。

## 人材育成に力を

Q これからの川崎町に何を期待しますか。  
A 子育て支援は充実していると思いますが、将来ある子どもたちの学業向上に力を入れていただきたい。特にインバウンドが進むなか、幼少期からの英会話には力を入れていただき、世界に羽ばたくような人材を育てていただければと考えています。

## 自然を活かした憩いの場を

Q 議会に対してのご意見や望むことはありますか。  
A 町民の声を議会に反映していただきたい。また、セントメリーのオールシーズンスキー場を目玉に、みちのく公園や釜房ダムとの連携を図り、外国人も来るような自然を活かした憩いの場をつくることを期待します。



# お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は9月11日(火)  
一般質問は9月12日(水)・13日(木)  
午前10時、再開の予定です。

### 議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は6月会議 3人、ライブ中継は63アクセスでした。)

詳しくは、  
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111  
(内線1302)

## 私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



## 町の風景

## 仲の良い親子



撮影 コラボレーター 佐々木和人さん

## 町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明 「ソーレ! ソーレ!」  
川崎小学校運動会にて

撮影 コラボレーター 藤原義信さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会  
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1  
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789  
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp  
印刷 株式会社津田印刷